

単元名：おじいちゃんとの約束

「命の大切さについて考えよう」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年11月16日(火)第3校時

授業学級 6年東組

授業会場 6年東組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で, ○○を通して, ○○を□□することができる/できるようになる。

三十八億年の命で「命のつながり」について考えた子どもたちが、信二の心情の変化を考える場面で、精一杯生きるとはどういうことを考えることを通して、かけがえのないものである命を大切に、自分らしく生きていこうとする心情を育むことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 命について考える	「大切なもの」「生きる・死ぬ」「心・身体」 「テレビで聞いたことがあるよ。」 「友達と喧嘩した時。」 「ゲームで敵にやられたとき。」 「言ったことないよ。」 「命は大切なものだと分かっているけど、死ねって言葉を使ってしまったことがあるな。」	命のイメージってどんなものだろう？ 日常生活で「死ね」って言葉使ったり聞いたことある？どんなとき？ Jamboardで活動 自身の経験から自分事として捉える。 自分が捉えている命と、自分の命に対する普段の言動の違いに気づき、命の大切さに目を向ける意識を持たせる。	5分
			【学習課題】 精一杯生きるとは、どう生きることなんだろう。	
			【学習問題】 信二の心情がどのように変わったか考えよう。	

展開	2. 教材の内容を確認する	座ったまま音読をする	座ったままでいいので音読をしましょう。(子どもが音読) 音読をした後に隣の人とどんな話だったのかを言い合って内容を確認する。	5分
	3. 信二の「いかり」と「なみだ」について考える	「軽々しく死ねと口にする芸人に対してのいかり」 「おじいちゃんが病気になって悲しい。」 「ひどいことを言ってしまったと後悔していそう。」 「俺だったら苦しい。」 「私なら死ねと簡単に言う人を許せない。」	テレビを切ったあとの信二の「いかり」と「なみだ」はなんだったのでしょうか。 Jamboard を使って活動(班で) 「自分が信二の立場だったら？」 (机間指導)	12分
	4. おじいちゃんとの約束をどのようにして果たそうとしているのか考える	「自分らしく精一杯生きる」 「他人と比べないで生きる」	「自分だったらそんな人に向けてなんて声をかけるんだろうね？」(机間指導) 信二の心情だけでなく自分の経験や気持ちにも結び付けられるような発問を心掛ける。 信二はおじいちゃんとの約束をどのようにして果たそうとしているのでしょうか。 他のグループのJamboard も見てみる。	13分
終末	6. 精一杯生きるとはどのようなように生きることなのか考える	「自分らしく生きていく」 「自分の命や周りの人の命も大切にしていく」 「自分なんかって思わずに生きていきたい」	おじいちゃんとの約束を読んで、あなたが考える精一杯生きるとはどのようなことなのかフォームに記入する。 「あなたは精一杯生きていますか。」	10分

【本時の評価(評価する対象)】

かけがえのないものである命を大切に、自分らしく生きていこうとする心情を育むことができる。